

# 心理学研究法Ⅰ（実験計画法）

科目ナンバリング PSY-203  
選択必修 2単位

飯島 雄大

## 1. 授業の概要(ねらい)

心理実験では、様々な条件を操作することにより心理現象を検証する。よってどのように条件を設定するのかが重要になってくる。この講義では、データを適切に取得し、科学的に妥当な検証を行うための実験計画法について講義を行う。実験計画と解析手法は連動している。そのため前半は実験計画法とデータの取りかたについて学び、後半は統計ソフトウェア(R)を用いた実験データの解析方法について学ぶ。

## 2. 授業の到達目標

- ・実験計画法について理解する。
- ・適切にデータを収集することができる。
- ・適切にデータを扱い、解析する方法を習得する。

## 3. 成績評価の方法および基準

小レポート(50%)、小テスト(50%)で評価する。

## 4. 教科書・参考文献

### 参考文献

対馬栄輝・石田水里 医療系データのとり方・まとめ方—SPSSで学ぶ実験計画法と分散分析 東京図書  
山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎 Rによるやさしい統計学 オーム社  
橋本 貴充・莊島 宏二郎 実験心理学のための統計学 誠信書房

## 5. 準備学修の内容

- ・実験計画と統計解析は密接にかかわっているため、心理統計の基礎を復習して臨むこと。
- ・授業を復習し、自身のリサーチクエッショングをどのように検討するか考える。
- ・統計ソフトのプログラミングについて復習し、解析結果を適切に報告できること。

## 6. その他履修上の注意事項

受講生の理解度や進捗によって、以下の授業内容や順番を変更することがある。

## 7. 授業内容

- |        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 【第1回】  | イントロダクション(オンライン)                   |
| 【第2回】  | 実験による実証                            |
| 【第3回】  | データとその性質                           |
| 【第4回】  | 研究計画を立てる                           |
| 【第5回】  | 対象を抽出する                            |
| 【第6回】  | 実験計画法                              |
| 【第7回】  | ここまで振り返り                           |
| 【第8回】  | Rの基本的な使い方                          |
| 【第9回】  | 実験デザインと分析①:対応のあるt検定                |
| 【第10回】 | 実験デザインと分析②:対応のないt検定                |
| 【第11回】 | 実験デザインと分析③:1元配置分散分析(実験者間1要因分散分析)   |
| 【第12回】 | 実験デザインと分析④:2元配置分散分析(実験者間2要因分散分析)   |
| 【第13回】 | 実験デザインと分析⑤:反復測定分散分析①(実験者内1要因分散分析)  |
| 【第14回】 | 実験デザインと分析⑥:反復測定分散分析②(実験者内2要因分散分析)  |
| 【第15回】 | 実験デザインと分析⑦:分割プロットデザイン(混合計画2要因分散分析) |